



84111-XMEB-K0S0 CIVIC TYPE-R REAR AERO BUMPER & REAR DIFFUSER

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。
[適合車種] CIVIC TYPE-R DBA-FK2
[色記号] 本製品は未塗装品です。車両色（ホンダ色記号）は、サービスインフォメーションプレートで確認して下さい。
3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
5. 本製品の取り付けには、無限スポーツ エキゾースト システム（18000-XMEB-K0S0）が必要となります。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 国内販売課

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

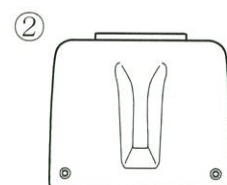
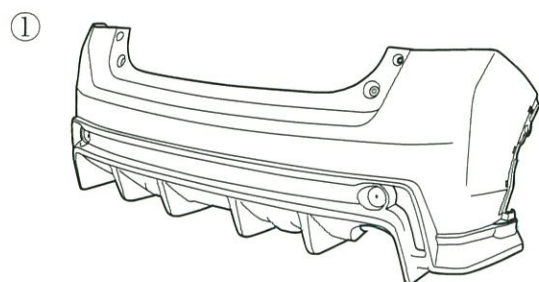
1. リア エアロ バンパー & リア ディフューザーが事故や接触等により破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外してください。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. リア エアロ バンパー & リア ディフューザーの取り付けによってバンパー部の地上高が低くなり、縁石、駐車場の車止めや、段差等の通過の際、リア エアロ バンパー & リア ディフューザーを擦る恐れがありますので、十分注意して運転してください。
3. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。リア エアロ バンパー & リア ディフューザーに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
4. リア エアロ バンパー & リア ディフューザー取り付け時はマフラーの熱で火傷をする恐れがありますので、マフラーの熱が冷めてから作業を行ってください。
5. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認してください。

【構成部品表】

No. PARTS NAME.

- | | | |
|---|-----------------------------|---|
| ① | リア エアロ バンパー &
リア ディフューザー | 1 |
| ② | 牽引フック カバー | 1 |
| ③ | リフレクター | 2 |
| ④ | ナット | 2 |
| ⑤ | スプリング ワッシャー | 2 |
| ⑥ | ネット | 2 |
| ⑦ | ボルト | 6 |
| ⑧ | 平ワッシャー | 6 |
| ⑨ | タッピングスクリュー | 2 |
| ⑩ | スピードナット 銀 | 2 |
| ⑪ | スペーサー セット | 1 |

QTY.



【必要工具】

- ・クリップリムーバー ・プラスドライバー ・スパナ 10mm
- ・ラチェットレンチ 10mm ・トルクレンチ ・カッター

FRPゲルコート仕上げ製品の特性及び塗装作業の注意事項

●FRPゲルコート仕上げ製品の特性

FRP製ゲルコート仕上げの商品は複雑な形状を製造するのに適したハンドメイドで製造した商品です。そのためPPE、ABS樹脂製塗装済み商品とは取扱いが異なります。

ハンドメイド製造品のため、車両、商品の個体差により、塗装前にフィッティング確認、取付穴などの修正及び、製品表面の面出しや製法上発生するキズなどの修正等の下地処理が必要となります。予めご了承下さい。

○塗装作業の注意事項

下記の点にご注意ください。

1. 塗装作業前に必ず車両への仮付けを行い、無理なく取り付けができることを確認して下さい。
取付穴および車体部品とのフィッティングの調整を行って下さい。
車両個体・製品個体差等で修正が必要になる場合があります。

2. 製造工程上、製品表面にヤスリ跡、合わせ面の補修、修正跡、ゲルコート表面の細かい凸凹があります。本塗装前に必ず下地処理を行って下さい。

3. ゲルコート仕上げ状態のままのご使用は出来ません。

製品を良く確認の上、必ず全面にサーフェーサー（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、パテ（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、耐水ペーパーによる面出し作業、足付け作業などの下地処理を行った上で、本塗装を行って下さい。特に、割型面部はピンホールが発生し易いので、必要に応じてパテ修正・面出し等の下地処理を行って下さい。

*なお、FRPゲルコート製品はその製法上、ABS、PPE樹脂製塗装済み商品と同等の面品質が出ない場合があります。予めご了承下さい。

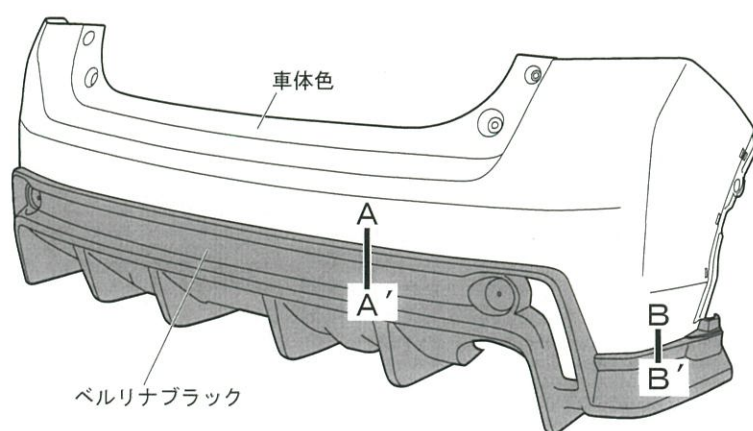
4. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼き付け仕上げ温度の上限は50℃です。
FRP製品を50℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。

5. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。

I. 塗装作業

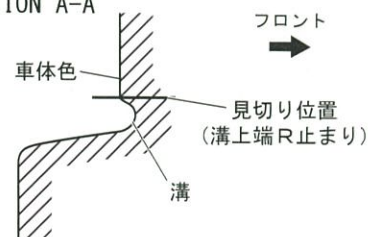
塗装の塗分け

塗分け塗装推奨：ベルリナブラック（NH547）



塗分けの見切り位置

SECTION A-A'



塗分けの見切り位置

SECTION B-B'

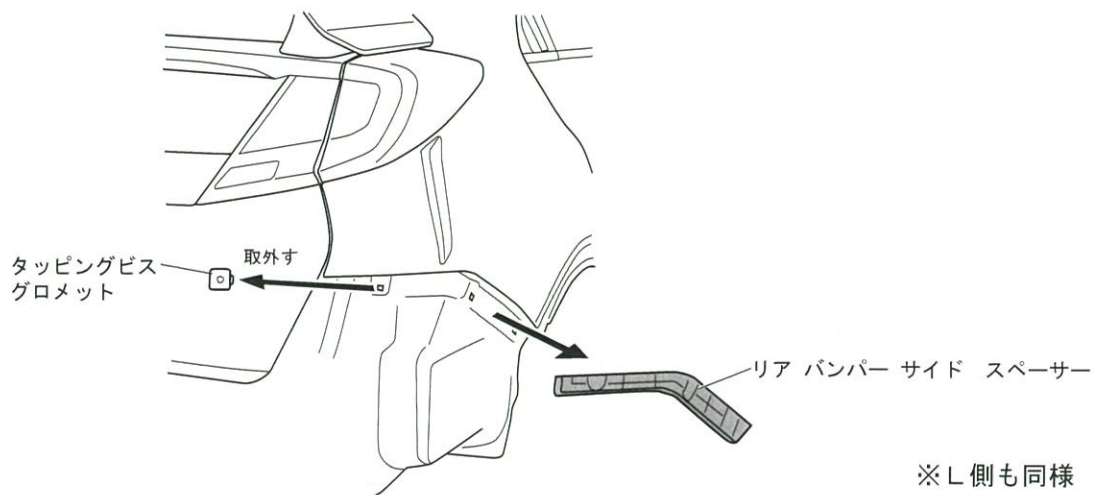


Ⅱ. 取付準備

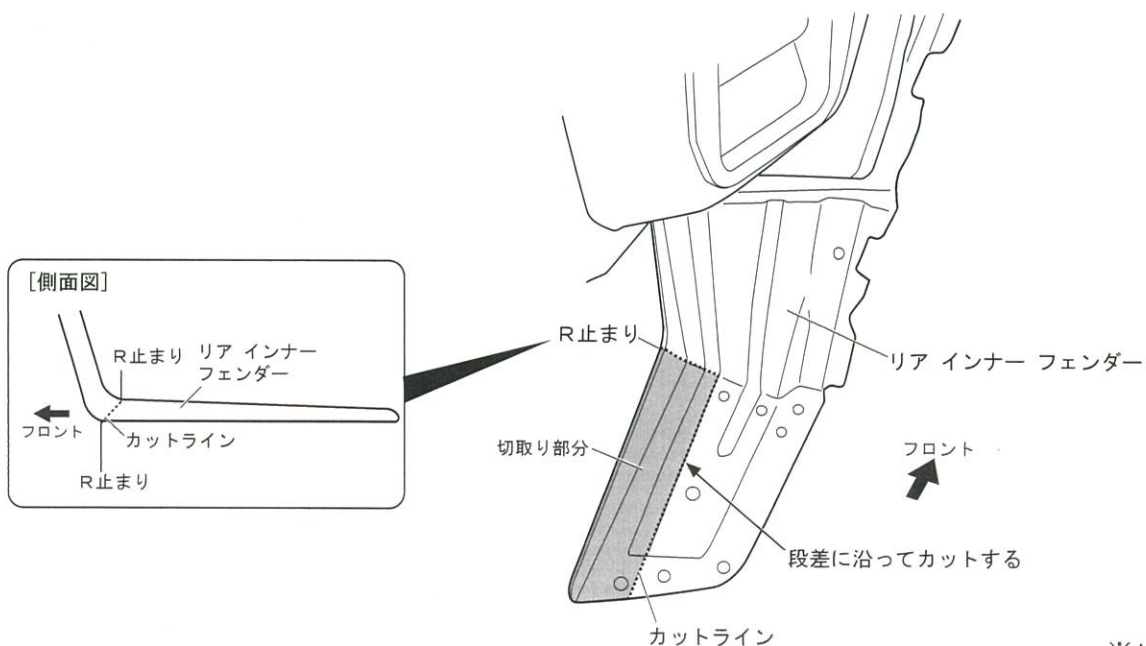
- 《注意》・リア エアロ バンパー & リア ディフューザーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・作業は左右同様にを行うこと。

①車両からラゲッジルーム左右内張り、左右リア ホイール アーチ プロテクターおよびリア バンパーを取外す。（サービスマニュアル参照）
ここで取外した左右リア ホイール アーチ プロテクター、クリップ、ボルト類は再利用する為、紛失や破損に注意すること。

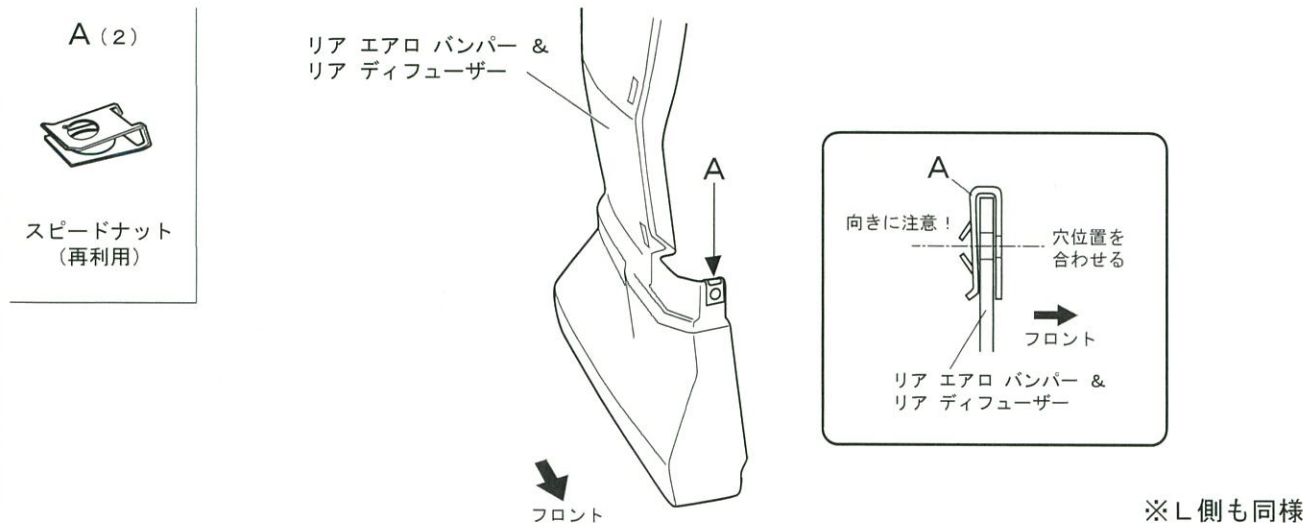
②左右リア フェンダー側面のリア バンパー サイド スペーサーおよびタッピングビス グロメットを取外す。（サービスマニュアル参照）
ここで外した左右のリア バンパー サイド スペーサー、タッピングビス グロメット、タッピングビスは再利用しない。



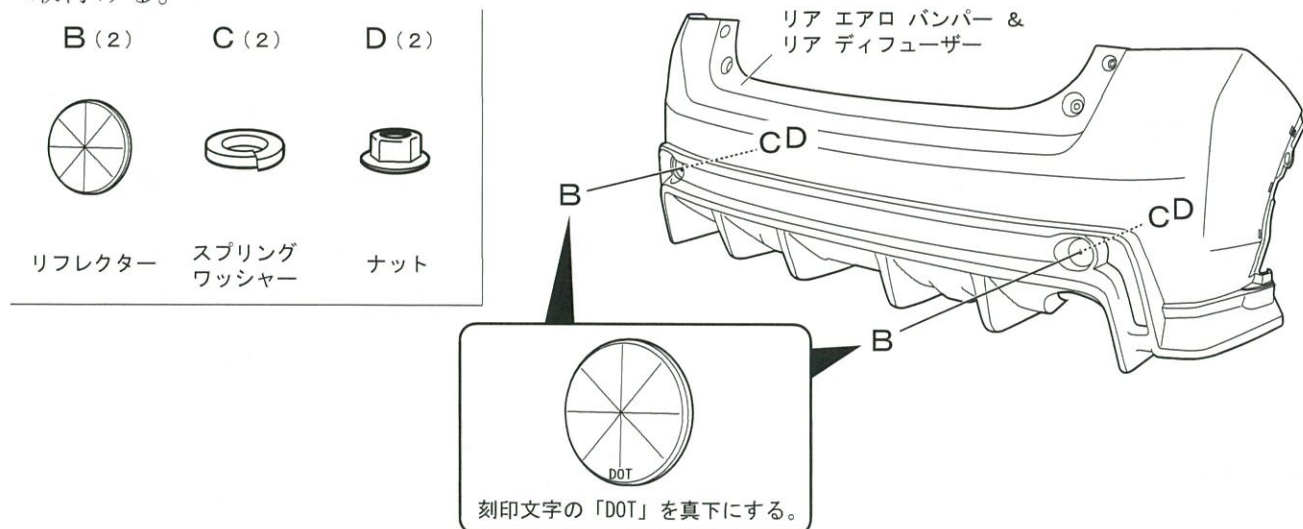
③下図を参照し、左右 リア インナー フェンダーの後端内側をカッター等で切取り加工する。



- ④リア バンパーの左右タイヤハウス折返し部下端のスピードナット (A) を取外し、リア エアロ バンパー & リア ディフューザーに移設する。

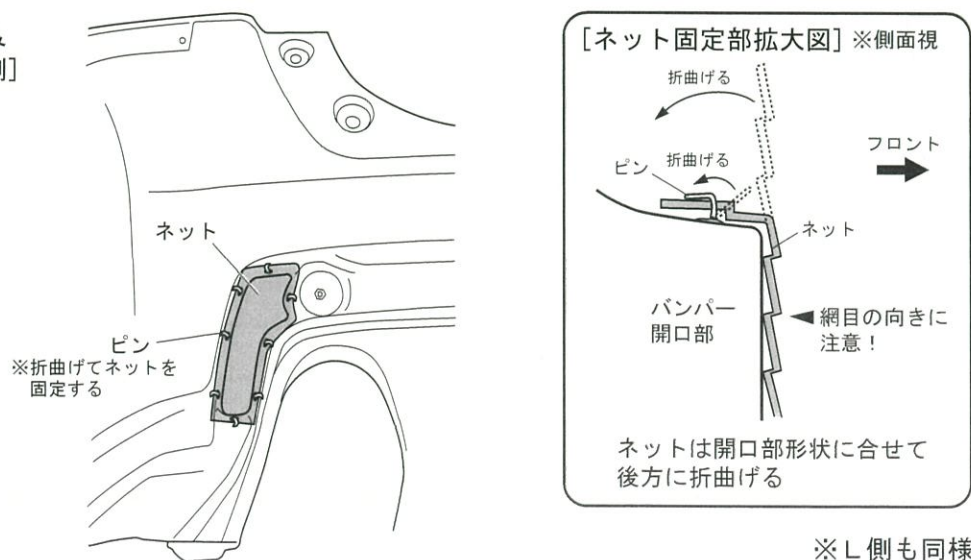


- ⑤リフレクター (B) をスプリング ワッシャー (C)、ナット (C) で左右2ヶ所に取付ける。



- ⑥左右開口部裏側にネットを仮当てし、開口部形状に合わせてネット端部を折曲げながら備付のピンで固定する。

[リア エアロ バンパー & リア ディフューザー裏側]

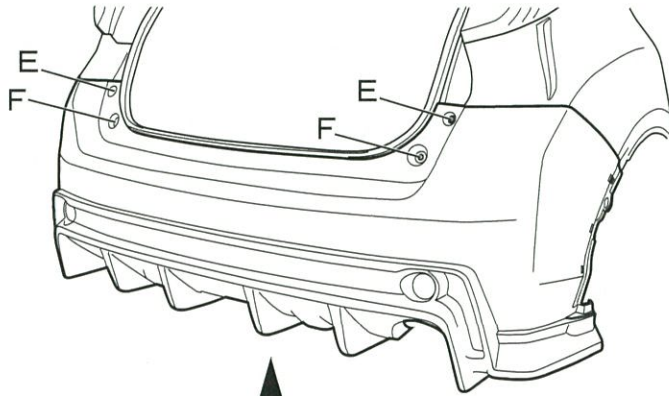
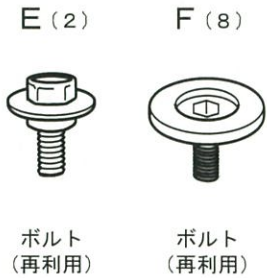


Ⅲ. リア エアロ バンパー & リア ディフューザーの取付

《注意》・リア エアロ バンパー & リア ディフューザーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

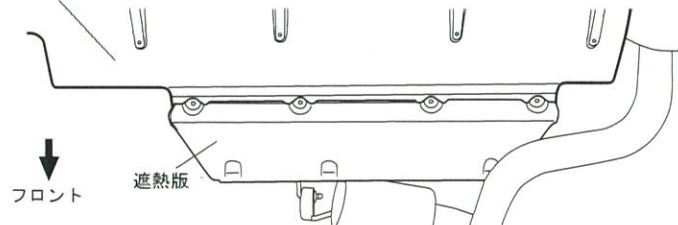
- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様に行うこと。

①リア エアロ バンパー & リア ディフューザーを車両に仮当てし、後面をボルト (E)、ボルト (F) 再利用して各 2 ヶ所仮締めする。

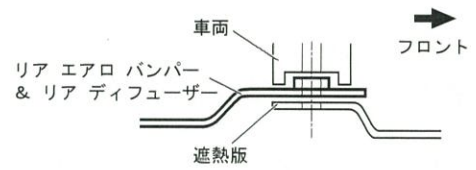


[下面図]

リア エアロ バンパー & リア ディフューザー



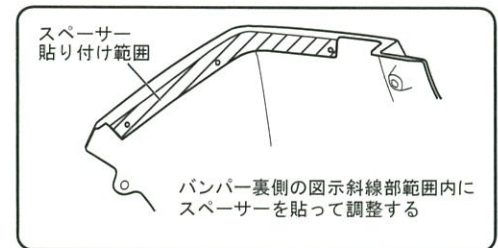
[下面締結部断面図]



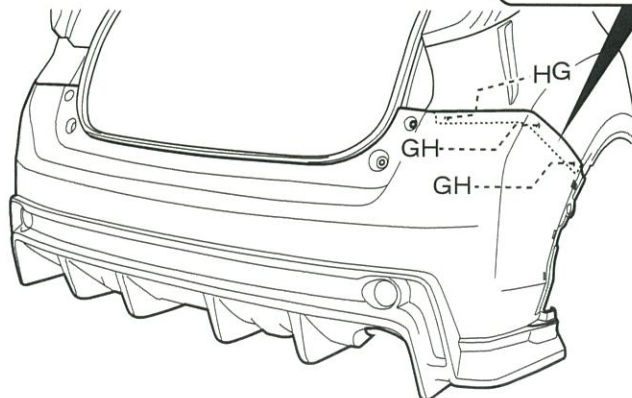
車両締結部と遮熱版の間にリア エアロ バンパー & ディフューザーを差し込む様に取り付ける。

②リア エアロ バンパー & リア ディフューザー側面を車両内側からボルト（G）、平ワッシャー（H）を使用して仮止めする。

リア フェンダーとの面差が生じる場合はスペーサー セット (I) を使用してスペーサーの厚み、枚数で調整する。



スパーサー セット



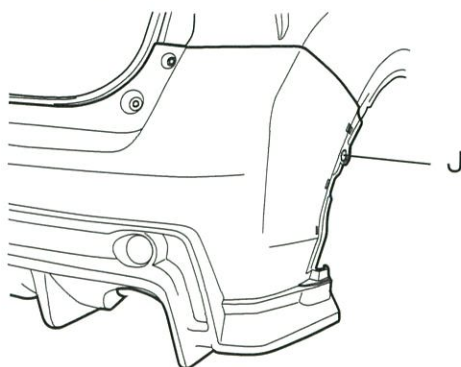
※L側も同様

③左右側面をクリップ（J）を再利用して固定する。

J (2)



クリップ
(再利用)



※L側も同様

④下面前端4ヵ所をボルト（K）を再利用して仮締めする。また、下面中央部2ヶ所をクリップ（J）、下面左右をクリップ（J）、クリップ（L）を再利用してリア インナーフェンダーと共に固定する。

J (2)

K (4)



クリップ
(再利用)



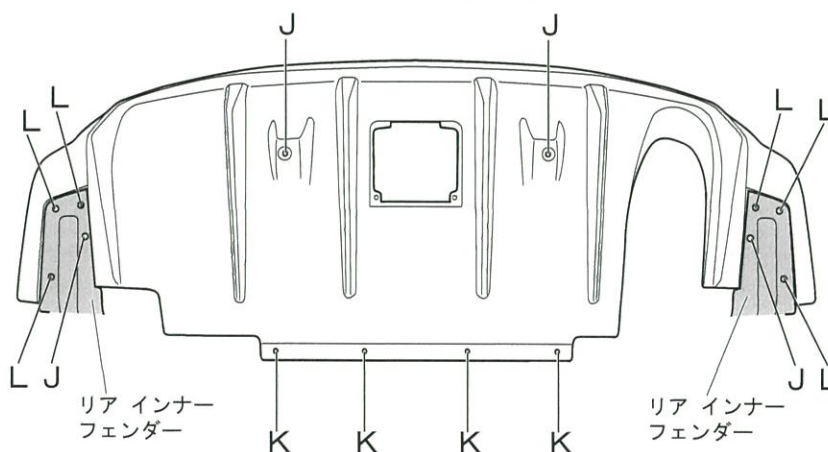
ボルト
(再利用)

L (6)

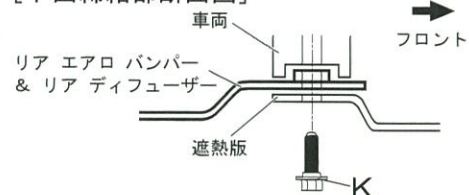


クリップ
(再利用)

[リア エアロ バンパー & リア ディフューザー下面]



[下面締結部断面図]



⑤下面中央の牽引フック カバー取付け穴にスピードナット（M）を2ヶ所取付け、牽引フック カバーをタッピングスクリュー（N）で固定する。

M (2)

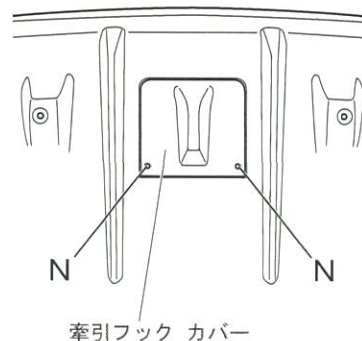
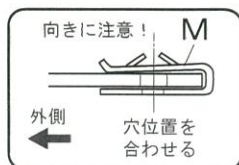
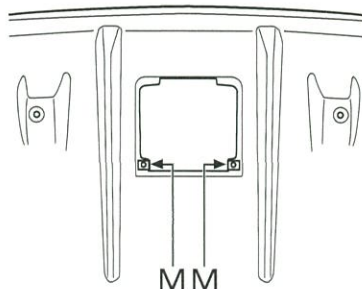
N (2)



スピード
ナット



タッピング
スクリュー



⑥ボルト (E)、ボルト (F)、ボルト (G)、ボルト (K) を本締めする。

ボルト (E)
締付けトルク
9.3 N.m
(0.95 kgf.m)

ボルト (F)
締付けトルク
9.3 N.m
(0.95 kgf.m)

ボルト (G)
締付けトルク
9.3 N.m
(0.95 kgf.m)

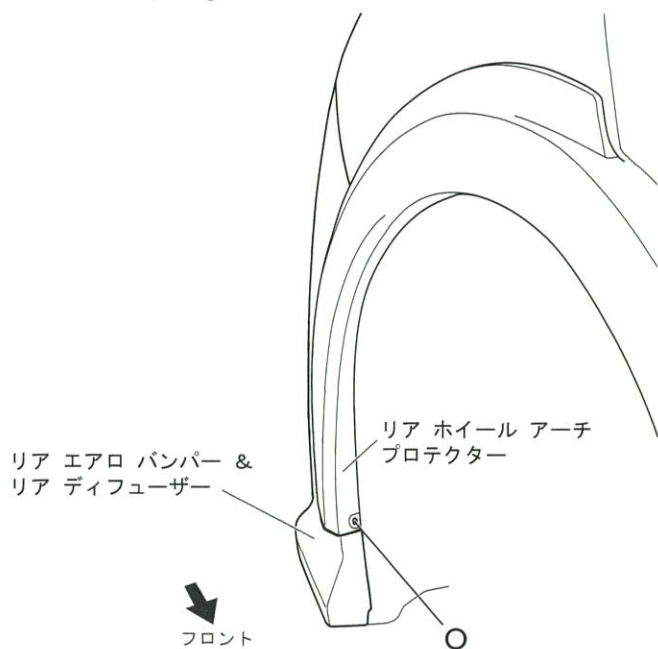
ボルト (K)
締付けトルク
9.3 N.m
(0.95 kgf.m)

⑦左右リア ホイール アーチ プロテクターを車両に復元する。タイヤハウス折返し部最下段をタッピングスクリュー (O) を再利用してリア エアロバンパー & リアディフューザーと共締めする。

O (2)



タッピング
スクリュー
(再利用)



※ L 側も同様

⑧ラゲッジルーム左右内張りを復元する。

⑨取付状態が完全か確認する。